

組合活性化情報
中小企業

しが

2025.
12月号
NO.693

ウェブでも
これまでの記事をご覧いただけ
ます。



Cover

滋賀県信用組合
滋賀県室内装飾事業協同組合
滋賀県塗装工業協同組合
滋賀県肥料商業組合

中央会つうしん

- ▶令和7年度 本のまちづくり推進プロジェクト
「#木曜日は本曜日～ほんならよってこか本やへ～」実施
- ▶令和7年度 秋の叙勲・褒章受章者等のご紹介
- ▶中小企業組合DX・GX推進セミナー 開催
- ▶龍谷大学との産学連携事業
プロジェクトリサーチ (R-Gap) 研究会 開催
- ▶第77回 中小企業団体全国大会(広島大会) 開催
- ▶技と食の祭典! 組合まつり in TOKYO 出展

青年たちの絆

- ▶信楽陶器工業協同組合 青年部会

女性たちの華やぎ

- ▶一般財団法人 近畿健康管理センター

業界et cetera

- ▶滋賀県信用組合
- ▶滋賀県室内装飾事業協同組合

創立記念特集

- ▶滋賀県塗装工業協同組合
- ▶滋賀県肥料商業組合



組合が取り組むビジネスマッチングを龍谷大学の学生に紹介
【滋賀県信用組合】



瀬田工業高等学校での破損壁紙の張り替え体験授業
【滋賀県室内装飾事業協同組合】



組合創立60周年記念式典で表彰された組合功労者の皆様
【滋賀県塗装工業協同組合】



組合創立60周年記念講演の様子
【滋賀県肥料商業組合】

発行



ネットワークで中小企業をサポート

滋賀県中小企業団体中央会

<https://chuokai-shiga.or.jp>

印刷

宮川印刷株式会社

令和7年度 本のまちづくり推進プロジェクト

「#木曜日は本曜日～ほんならよってこか本やへ～」実施

当会は、滋賀県書店商業組合（理事長 平井 浩 氏）とともに今年度、「本のまちづくり推進プロジェクト」に取り組んでいます。この事業は、文化発信の拠点である書店振興をきっかけとして、書店に来店して本に触れる機会を創出するとともに商店街や地域への波及効果を生み出し、地域活性化に資することを目的とするものです。このプロジェクトの一環として11月1日(土)から「#木曜日は本曜日～ほんならよってこか本やへ～」のキャンペーン企画をスタートしました。

この企画では、滋賀県にゆかりのある著名人6名〔三宅 香帆 氏（文芸評論家）、八木 莉可子 氏（俳優）、尾木 直樹 氏（教育評論家）、JP 氏（芸人）、宮島 未奈 氏（小説家）、長谷川 義史 氏（絵本作家）〕に、各自が設定したテーマに沿ってお薦めの書籍を5冊選んでいただきました。

「#木曜日は本曜日」のキャンペーンに参加している滋賀県書店商業組合の組合員店舗では、特設販売コーナーを設けて、選ばれた書籍を並べてイベントを盛り上げています。また、キャンペーン期間中に店舗に足を運んでもらうための仕掛けとして、店内にデジタルスタンプラリーのスポットを設置し、集めたスタンプに応じて景品と交換できるプレゼント企画も実施されています。

11月5日(水)には、大津市の滋賀県庁会見室において、本キャンペーンのプレスリリースも行いました。特設サイトおよびインスタグラムも開設しておりますので、詳しくは右の二次元バーコードから公式サイトをご確認ください。本キャンペーンにつきましては、令和8年2月28日(土)まで実施予定です。

この出会いが、
あなたのページを
めくるかも。

#木曜日は本曜日
～ほんならよってこか 本やへ～

令和7年11月1日(土)～令和8年2月28日(土)

11月1日(土) 滋賀県庁でプレスリリース

滋賀県書店商業組合、滋賀県文化振興センター、滋賀県立図書館、滋賀県立美術館、滋賀県立博物館、滋賀県立美術館、滋賀県立博物館、滋賀県立美術館、滋賀県立博物館



記者会見の様子



㊦平井理事長㊦西谷企画推進委員長



令和7年度

秋の叙勲・褒章受章者等のご紹介



“ご受章／ご受彰
おめでとうございます”

滋賀県中央会に関係する方々をご紹介します。(五十音順)

旭日小授章

喜多 良道 氏

元 滋賀県酒造組合 会長
現 滋賀県酒造業協同組合 顧問
現 滋賀県中小企業団体中央会 副会長

旭日双光章

木村 泰造 氏

元 彦根商工会議所 副会頭
元 彦根巡礼街道商店街振興組合 副理事長

黄綬褒章

西沢 勝治 氏

現 滋賀県菓子工業組合 副理事長

技能者厚生労働大臣表彰
(現代の名工)

藍綬褒章

山中 正一 氏

現 滋賀県酒販協同組合連合会 会長

河崎 隆 氏

現 滋賀県菓子工業組合 組合員

滋賀県技能者表彰
(おうみの名工)

北村 順治 氏

現 彦根仏壇事業協同組合 理事

津田 弘道 氏

現 滋賀県左官工業組合 常任理事

中小企業組合DX・GX推進セミナー 開催

当会では、11月5日(水)に草津市のクサツエストピアホテルにおいて、中小企業診断士の武田 明宏 氏を講師に招聘し、中小企業組合DX・GX推進セミナーを開催しました。前半のテーマ「DX」では、生成AIは「超優秀な新入社員」と捉えると理解しやすく、的確な指示が業務活用の鍵となることや、生成AIをうまく活用すれば、定型業務の効率化、データ分析、戦略立案などに役立つため、個人や組織として工夫しながら利活用を進めることが紹介されました。後半のテーマ「GX」では、組合としてGXに取り組む際、既存の事業がGXに資する可能性もあるため、デジタル技術を活用してアイデアを検討する手法の一つに生成AIを活用した戦略立案から実行支援、情報発信までのGX推進例が講師から示されました。

当会では各組合のニーズに応じた個別支援も行っております。DX・GXの推進に関してご要望があればお気軽にご相談ください。



講師 武田 明宏 氏



会場の様子

龍谷大学との産学連携事業

プロジェクトリサーチ(R-Gap)研究会 開催

当会では、県内ものづくり企業への技術と人材の両面支援の一環として、龍谷大学先端理工学部と連携し「滋賀のものづくり企業×龍谷大学先端理工学部2025連携交流事業in龍谷祭」を開催しました。

まず、10月25日(土)に同大学の瀬田学舎で開催された龍谷祭において、学生による自主研究発表「プロジェクトリサーチ(R-Gap)」のポスターセッションが実施され、参加企業による審査・交流を行いました。学生は「MATSU〜マツタケが香る里山づくり〜」など21件の企画を発表し、参加企業は自社PRの後、学生と意見を交わしながら審査を行いました。

11月5日(水)には表彰式を開催し、参加企業名を冠した審査企業賞および中央会会長賞が授与されました。その後の軽食交流会では、教職員・学生と企業が意見を交わし、活発な交流が行われました。

当会は今後も、県内中小企業の技術力や経営力の向上、人材確保の機会創出に努めていきます。



ポスターセッションの様子(10/25)



表彰式の様子(11/5)

第77回 中小企業団体全国大会(広島大会) 開催

11月12日(水)に広島市の県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）において、第77回中小企業団体全国大会が開催され、全国から中小企業団体の代表者約2,100名が参集しました。本県からは、北村会長以下、表彰者を含め13名が参加しました。

会場では山根 健嗣 広島県副知事、中井 幹晴 広島市副市長からの歓迎挨拶や、越智 俊之 経済産業大臣政務官、山田 雅彦 厚生労働審議官、関根 正裕 株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長からの祝辞のほか、鈴木 憲和 農林水産大臣からのビデオメッセージが披露されました。

大会においては、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目の決議案が採択され、「大会宣言」が力強く読み上げられました。

大会に併せて、優良組合(38組合)、組合功労者(73名)、中央会優秀事務局専従者(23名)の表彰が執り行われ、滋賀県からは組合功労者2名が表彰されました。来年度の第78回中小企業団体全国大会は、令和8年11月19日(木)に、熊本市「熊本城メインホール」で開催される予定です。

■組合功労者 (五十音順)

滋賀県商店街振興組合連合会	理 事	富田 浩徳 様
滋 賀 県 印 刷 工 業 組 合	代表理事	中村 壽志 様



全国大会の会場風景

技と食の祭典!組合まつり in TOKYO 出展

地場産業戦略的取組支援事業の一環として、滋賀県麻織物工業協同組合（理事長 川端 正隆 氏）では、10月29日(水)・30日(木)に東京都の東京国際フォーラムにおいて開催された「技と食の祭典!組合まつり in TOKYO」にブース出展されました。

会場には2日間で約200名がブース来場され、組合が行う地機^{じばた}を用いた麻織物の実演には、多くの方が足を止め、伝統工芸士による精緻な手仕事や麻糸の自然な風合、織りの細やかさに見入る姿が見受けられました。また、製作工程や道具に関する質問が多数寄せられ、麻織物の歴史や製法、ヘンプ・ラミー・リネンなど素材の特徴について丁寧な説明が行われました。

会場では製品の販売も行われ、組合にとって首都圏で麻織物の魅力を広くPRする貴重な機会となりました。

当会では今後も、各種イベントへの出展を通じて、伝統産業の継承や発展、地場産業の活性化に向けた支援活動を継続していきます。



職人による地機の実演



製品販売の様子

「職場の未来デザイン！チャンネル」の開設について

滋賀県では、持続可能な職場や地域づくりを進め、性別に関わらず誰もが働きやすく活躍できる社会をつくっていくことを目指し、ジェンダー平等のための理解を深めていただく動画を下記の5編作成していますので、ご案内します。

- (1) アンコンシャス・バイアス編
- (2) 男性育休編
- (3) 家事シェア編
- (4) 女性の健康編
- (5) アフターバース編

*詳しくはこちらをご覧ください→



滋賀県商工観光労働部メールマガジン「しがビジネス応援だより」のご案内

滋賀県では、県内事業者に向けて、広く・速く・ダイレクトに県等が実施する支援情報を届けるため、商工観光労働部メールマガジン「しがビジネス応援だより」を開設しました。

県等が実施する最新の事業者支援情報を見やすく・分かりやすく発信します。

名 称：「しがビジネス応援だより」（略称：「しがビジ」）

対 象：全業種（どなたでもご登録いただけます）

料 金：無料

配信頻度：月1回＋臨時配信

配信内容：主に県が実施する施策を中心に配信します

- 補助金・助成制度
- イベント・セミナー・講座
- 商談会等出展募集
- その他県内事業者の支援情報等

*詳しくはこちらをご覧ください→



中小企業庁からのお知らせ

「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」のご案内

中小企業庁では、中小企業・小規模事業者の皆さまが賃上げや最低賃金の引き上げに対応しつつ、新製品の開発、新設備の導入、販路の拡大、従業員の処遇改善、人材確保などに取り組めるよう、国の支援制度をまとめた「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」を開設しました。

今年度の最低賃金は過去最大の引き上げとなっており、これに対応する事業者の皆さまにとって有益な、収益向上のヒントや補助金・助成金・税制・相談窓口などの情報を、分かりやすく発信しています。ぜひ、自社に合った支援策をご確認ください。

*詳しくはこちらをご覧ください→



中央会行事のご案内

日 時	内 容	会 場
1月20日(火) 14:30～15:30（予定）	外国人雇用セミナー ～育成就労制度に向けて～	クサツエストピアホテル （オンライン併用開催）

信楽陶器工業協同組合 青年部会

第20回

今年度も私たちの組合は信楽焼製造事業者の集まりとして、信楽焼の未来を見据えながら青年部を中心に多彩な企画を進めてまいりました。青年部会員同士の交流を深めるとともに、次代の信楽焼の在り方について活発な議論を重ねています。

毎年7月に開催される火まつりは、日ごろ触れている「火」への感謝を示し、愛宕山へ松明を奉納する伝統行事です。しかし近年はボランティアの減少により存続が危ぶまれており、この伝統を守り続けるために、青年部でも課題の共有と対応策の検討を進めています。

しがわーくフェスタでは、恒例の「たぬきの絵付け体験」を通し、多くの来場者へ信楽焼の魅力を発信しました。さらに、古琵琶湖層穴窯プロジェクトでは、良質な粘土資源を活かして制作した作品を万博会場で披露し、多方面から高い評価をいただきました。この成果は、信楽の可能性を広く示す大きな機会となりました。

今後も、信楽焼の振興と地域活性化に向け、組合員の知恵と力を結集し、新たな価値を創出する活動を続けてまいります。



滋賀県中小企業青年中央会は、組合青年部の会員を募集しております。お問い合わせは事務局までお願いいたします。

女性たちの華やぎ

第8回

しが中小企業女性中央会 メンバー紹介

一般財団法人 近畿健康管理センター

一般財団法人近畿健康管理センター(KKC)は、1973年の設立以来、健診サービスを通じて地域と企業の健康づくりを支えてきました。近年は「ヘルスクラウドサービス MIRAI+」を導入し、健診のシフト調整、問診回答、結果確認など、健診準備から事後フォローまでをクラウド上で一元管理。これにより、お客様の事務負担を軽減するとともに、紙資源や輸送エネルギーの削減にも貢献しています。

さらに、CO₂フリー電力と蓄電池を搭載した総合健診車を導入し、医療機関へのアクセスが難しい地域や職場にも健診を届ける体制を強化。誰もが安心して健診を受けられる環境づくりを進めています。

KKCは今後も「健康」「環境」「地域」「人財」という4つのテーマに真摯に向き合い、本業を通じて社会課題の解決に取組、持続可能な未来に向けて歩み続けます。



「総合健診車」はこれまで巡回健診が困難であった地域や環境の皆様への受診機会を創出

KKC

ミライの健康を創ろう

KKCはSDGsに取り組んでいます

事業を通じて「健康」「環境」「地域」「人財」4つのテーマでSDGs達成に向けた活動を展開します












WEBサイト

景況

県内33名の中小企業団体情報連絡員報告より

レポート

令和7年 10月分

前年同月比 のDI値	県内					
	全体		製造業		非製造業	
業界の景況	 -15.2	 -14.3	 -15.8			
売上高	 -15.2	 -14.3	 -15.8			
収益状況	 -36.4	 -42.9	 -31.6			


※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとるための指標です。


(-100≤DI値≤100)


DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合
-減少・悪化と答えた企業の割合


【例：調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合… $(4-10)/20 \times 100 = -30$ 】

DI値が  = 0以上

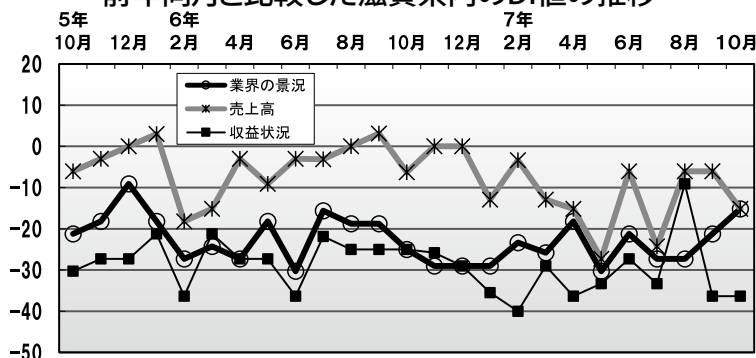
 = -20以上0未満

 = -40以上-20未満

 = -60以上-40未満

 = -60未満

前年同月と比較した滋賀県内のDI値の推移



県内の 景況推移

10月の県内の景況は、売上高が少し悪化。製造業・非製造業ともに最低賃金の上昇の影響が出始めている。旅館業では、大阪・関西万博にお客を取られていたが国スポ・障スポで忙しい時期となった。

県内業界の声をピックアップ

製造業

縫製	最低賃金改正により人件費高騰のため利益率が減少している。
綿織物	織物産地全体、衣料向けの仕事量は増えていないものの、やや持ち直しの感があります。資材向け織物の機業は堅調ですが、例年と比べて多い訳ではありません。 給与体系が不十分で、「転出したい」とする職員がちらほら出てきました。
印刷	10月からの資材の値上がり、最低賃金の上昇で売上増にみあった利益が確保出来ていない。これらの上昇分を販売価格に反映するには時間がかかり、印刷物の長期的な需要低迷が続くなか、値上げに踏み切れない実情もある。
土石製品	年度当初から予定されていた大型の公共工事、民間工事の出荷がそれぞれ本格化した結果、昨年同月比の約137%と大きく増加した。それに伴い、今年度の累計出荷量においても前年同月比の約103%と僅かではあるが、昨年度をオーバーして推移している。なお、この地域においても近隣他府県ならびに県内他地域同様、セメントをはじめとする原材料等の値上げに伴い生コンクリートの価格改定が現実味を帯びてきた。

非製造業

電気機械器具	好調であった販売ですが、値上げ以上の減販が響き前年を割ってしまう。 ここ数カ月で懸念していた回収面も厳しいお得意先が出て来て、お得意先の二極化もさらに進んでいるようです。
茶	4番茶、秋冬番茶ともに大幅な仕入価格の暴騰があり秋冬番茶に関しては、前年比350%から700%と超異常な取引が続いています。安い品の不足が要因で秋以降の販売数量が価格高騰を考えても減少傾向です。
旅館・ホテル	国スポ・障スポがあり、大変忙しい1か月でした。ただ、受け入れの際の金額の上限があり、最大18,000円(1泊2食付き)のため、稼働率などは上がったが、実質の売り上げはトントンではないかと推測する。ただ、万博期間中お客様を大阪に取られ、大半の組合員施設は厳しい状況だったので、今月は好調だったと思う。

全国の景況レポートは全国中小企業団体中央会のwebページをご覧ください。

<https://www.chuokai.or.jp/index.php/category/news-keizai/>



全国特定地域づくり探訪

●新しいスタイルの派遣業—地域を支える新しい働き方—マルチワーク—

人材バンク唐津協同組合

佐賀県
唐津市

活用のきっかけ・期待すること

- ▶ 地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律に基づき、佐賀県知事の認定を受けた組合。総務省および唐津市より特定地域づくり事業推進交付金の支援を受け、主に特定地域に労働者派遣を行っています。(特定地域:相知町、厳木町、七山村、鎮西町、肥前町、呼子町)
- ▶ 特定地域づくり事業協同組合制度とは、組合員である事業者に対して労働者派遣事業を行う制度。組合が年間を通じて職員を正規雇用、安定的な雇用環境と一定の給与等を確保した上、組合員である事業者の人手が必要な時期に合わせ職員を派遣し、人出不足を解消。特定地域づくり事業協同組合の職員は、季節ごとの労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事するマルチワークという新しい働き方。

取組内容

▶新しいスタイルの派遣業

今までの派遣とは異なり、組合員で職員のシェア・共有を行い、組合員で雇用した職員を育成し、将来的には地域産業の担い手の確保に！複数の事業所で働いている職員のノウハウは、事業所の課題の解決の糸口に。

組合では、地域課題（人材不足、繁閑差、雇用不安、人材育成等）に向き合い、事業者の手助けとなるようなマルチワーカーの育成・派遣を行っている。

組合では、経験を積みながら、自分の未来を考える仕事で「人脈を広げ、趣味を謳歌したい方」を募集。マルチワークとは、ある日は農業、ある日は観光業、といったように季節など繁閑差に応じて様々な職に携わる人のこと。農業・漁業・観光業・製造業など、地域に根付いた様々な仕事があり、組合員企業の仕事をお手伝いにいき、スキルと経験を積み、自身の“やりたい”を実現してみませんか？

組合に関わる皆さんの声

▶組合員企業

「人手不足で困っていた。組合の派遣職員に来てもらえるおかげで、(非常事態に) 備えることが

できる。休憩も回せるようになったし、職場の雰囲気良くなった。」「今までは忙しいあまり、丁寧に教えることができなかったが、組合の派遣職員さんが来るようになったことで余裕ができ、工夫して指導できるようになった。今は派遣職員として受け入れているが、将来は当社で雇用できるよう信頼関係を築きながら一緒に頑張りたい」

▶組合職員（派遣職員：兵庫から移住、現在は組合卒業）

「自分がこれまで経験したことに加え、唐津で様々な経験を重ね、いつか起業したい。いろんな経験が出来る職場であり、将来の独立も応援してくれているので、とても気に入っています。様々な事業所に行くので、知り合いも増えました。休日は海の家でバイトしたり、趣味のバスケットボールに打ち込んだり、充実した時間を過ごしています」

今後の展開

労働者人材派遣という垣根を越えて、人口流出の要因やU/Iターンの障害を取り除き、地域の仕事を組み合わせて、年間を通じた仕事を創出。組合で職員を雇用し、組合員企業に派遣（安定的な雇用環境・一定水準を確保）し、地域の担い手を確保していきたい。



組合URL

<https://jinzai.life/>

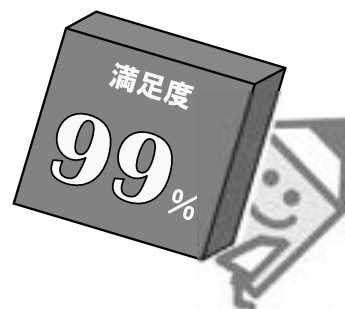
※総務省：特定地域づくり事業協同組合制度ブロック説明会の事例発表資料等を基に作成したものです。

内容よし！ 講師よし！ コスパよし！

ポリテクセンター滋賀主催 生産性向上支援訓練

10名様以上なら、

オーダーコース



◆◆◆ 課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズ ◆◆◆



- ◇ 貴社の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズできます。
- ◇ 実施日時や訓練時間のご要望承ります。
- ◇ 貴社の会議室等で開催なら、移動不要。当センター開催もOK！
- ◇ 複数の事業所様で10名様以上での開催も承っています。
- ◇ 対面、オンライン（同時双方向）、対面とオンラインの併用での受講もできます。
- ◇ 受講料は、おひとり2,200～6,600円（税込）
- ◇ 支給要件を満たせば、国の助成金（人材開発支援助成金等）を利用できます。

◇ コース選定、実施機関との調整は、当センターがお手伝い ◆◆◆

[A社]製造業/従業員数44人

- ・昨年度の「DXの推進」で、DXの考え方、企業変革の有効性を理解した
 - ・具体的な実現事例を知り、自社のDX進捗状況の現状認識を行い、課題整理を行いたい
- [対象] 中堅・リーダー層 10人

製造分野におけるDX推進
6時間×1日 3,300円/人

[B社]社会福祉業/従業員数140人

- ・各事業所の管理者のスキルや意識を同じ水準にしたい
 - ・自律した働き方ができるようにしたい
 - ・1日目終了時に課題を与えてもらいたい
- [対象] 管理者層 17人

組織力強化のための管理
3時間×2日 3,300円/人

[C社]情報通信業/従業員数142人

- ・顧客の真のニーズを把握し、顧客の期待を上回る提案ができる営業力・提案力を身に付けさせたい
 - ・ロールプレイングなど、実践を交えた内容として欲しい
- [対象] 若年者層 21人

提案型営業実践
6時間×1日 3,300円/人

らしく、
はたらく、
ともに

JEED

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 滋賀支部

ポリテクセンター滋賀 生産性向上人材育成支援センター

〒520-0856 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分/無料駐車場あり

(担当)生産性センター業務課 TEL: 077-537-1176 E-mail: shiga-seisan@jeed.go.jp



税理士 山本 善通 氏

組合税務相談室

ちょっと

教えて

Q&A

Question

源泉徴収事務

当組合は、共同購買事業を中心に組合事業を展開しており、役職員も10名を超えています。令和8年度の「源泉徴収事務」を開始するに当たり、概要と留意点について教えてください。

また、「簡易な扶養控除等申告書」の作成について教えてください。

Answer

【概要】

〈扶養控除等申告書の提出〉

- (1) 「令和8年分 給与所得者の扶養控除等申告書」の用紙を各人に配布し、必要事項の記載を求めた上で回収し、毎年最初の給与等を支払う日の前日までに、給与所得者各人から、その人が控除を受けようとする源泉控除対象配偶者、源泉控除対象親族、障害者等の有無やこれらに該当する事実を記載した扶養控除等申告書の提出を受けなければなりません。
- (2) ① この申告書は、源泉控除対象配偶者や源泉控除対象親族のない人なども提出しなければなりません。
② 2か所以上から給与等の支払を受けている人は、いずれか一の支払者にのみ提出できます。



〈簡易な扶養控除等申告書について〉

- (1) 簡易な申告書とは
令和5年度の税制改正で創設されました。具体的には、扶養控除等申告書に記載すべき事項が、その年の前年にその給与等の支払者に提出した扶養控除等申告書に記載した事項から異動がない場合に、その扶養控除等申告書に記載すべき事項に代えて、その異動がない旨を記載して提出する扶養控除等申告書をいいます。
- (2) 簡易な申告書の記載方法について
簡易な申告書を提出する人本人の氏名、住所又は居所及びマイナンバー（個人番号）を記載の上、前年に提出した扶養控除等申告書に記載した事項から異動がない旨を余白に記載する等して提出してください。

【留意点】

- (1) 給与所得者から提出を受ける「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」には、給与所得者本人、源泉控除対象配偶者及び源泉控除対象親族等の個人番号を記載してもらう必要があります。
また、その際には、源泉徴収義務者は、給与所得者の本人確認を行うこととされていますので、留意してください。
- (2) 非居住者である親族について扶養控除等の適用を受ける場合の確認
給与等の源泉徴収に当たって、給与等の支払を受ける給与所得者が、非居住者である親族について、扶養控除等の適用を受ける場合には、「親族関係書類」「留学ビザ等書類」を提出し、又は提示する必要がありますので、留意してください。
- (3) 源泉徴収簿は、その年中の給与等の支払状況、所得税及び復興特別所得税の徴収状況その他を明記しておく大切な帳簿の一つであり、支払をする各人ごとに作成しておく必要がありますので、留意してください。

ニュースリリース

全国中小企業団体中央会

2025年11月4日

中小企業15,371者の声を集約した結果、賃上げを消費者物価指数に沿うように進めてきた中で、直近5年間の賃上げは、「業績に応じて」というよりも「労働力の確保・定着のため」とする事業者の方が多くなっています。

人材および労働力の不足感が高まり賃上げは避けられない一方で、人件費の増加が経営の障壁として顕在化しており、経営環境の厳しさが一層増している実情が明らかになりました。

～令和7年度 中小企業労働事情実態調査結果の概要～

全国中小企業団体中央会（所在地：東京都中央区、会長：森 洋）では、昭和39年から継続して実施している「中小企業労働事情実態調査」を、第62回目として実施しました。

本調査は、従業員規模300人以下の39,849事業者を対象に行い15,371事業者から回答を得て、2025年7月1日時点の状況を集計したものです。

今回はその調査結果の中から、「賃上げ」および「価格転嫁」に関する概要をお知らせいたします。



※調査結果概要のまとめはこちらをご覧ください。→

きつとみつかる
いい人、いい仕事



「失業なき労働移動」の実現をめざす再就職・出向の専門機関



企業と人材を結ぶエキスパート

働く
6つの取り組みで
雇用をサポート

- ① 離職する従業員の再就職をサポート
- ② 人材を確保したい企業に対するサポート
- ③ 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート
- ④ 雇用を維持するための在籍型出向をサポート
- ⑤ 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート
- ⑥ 従業員のスキルアップや研修を目的とするセミナー（有料）

費用は
無料



公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇）滋賀事務所

〒520-0051 大津市梅林 1-3-10 滋賀ビル

TEL 077-526-3991 FAX 077-526-2761

ご利用時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

詳しくはこちら▶





商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

大津支店 〒520-0047 大津市浜大津1-2-22
彦根支店 〒522-0073 彦根市旭町9-3

TEL:077(522)6791
TEL:0749(24)3831



人を思う。未来を思う。

商工中金

地域大学との連携を通じた 信用組合の認知度・ブランド力の向上

滋賀県信用組合

滋賀県信用組合（理事長 青木 和夫 氏）では、令和5年から「地域社会における信用組合の役割」をテーマに、滋賀県の地域特性や魅力を交えながら、組合が地域社会に貢献する姿勢やビジネスマッチング業務などを紹介する演習を、滋賀大学と龍谷大学で実施されてきました。こうした取組が評価され、令和7年度「しんくみブランド表彰」を受賞し、10月17日(金)には東京都の経団連会館にて表彰式が行われました。この表彰制度は、信用組合業界の多様な活動を広く周知し、基本理念である相互扶助の精神と信用組合の存在意義をより一層訴求することを目的として、一般社団法人全国信用組合中央協会・全国信用協同組合連合会が実施しているものです。

受賞後の10月29日(水)には、京都市の龍谷大学深草キャンパスで青木理事長が登壇され、改めて演習が実施されました。組合では今後、人材育成も見据え、組合の職員にも関わってもらい、大学との連携を継続される方針です。



表彰式の様子



組合の概要説明を行う青木理事長

校舎の破損壁紙を生徒とともに張替施工 魅力ある体験授業の実施

滋賀県室内装飾事業協同組合

滋賀県室内装飾事業協同組合（理事長 中山 和重 氏）では、10月21日(火)大津市の瀬田工業高等学校定時制3年生による課題研究の一環として、教育工学室の破損壁紙の張替施工を実施されました。今回の取組は、現場体験を通じて将来の就業を見据えた実務的な経験を積んでもらうとともに、若年層に対する業界理解の促進を目的としており、生徒とともに施工を行うのは組合として初めての試みとなります。

課題研究には、組合からは葛畑副理事長、岩根専務理事、清水理事のほか、組合員の若手従業員3名が参加されました。張替を行った教育工学室の壁は、材質や柱、付属設備の形状に施工難易度の高い箇所も含まれていたため、生徒にとっては、実際の現場作業や組合員の持つ技術力を理解する貴重な機会となりました。組合としても人材確保は大きな課題であるため、業界理解に向けた体験授業については今後も継続される方針です。



組合員の指導を受けて施工する生徒の様子



施工後の振り返りミーティング

創立記念特集

創立60周年を迎えて 記念式典・祝賀会 開催

滋賀県塗装工業協同組合

滋賀県塗装工業協同組合（理事長 藤本 忠志 氏）では、11月14日（金）に大津市のびわ湖大津プリンスホテルにおいて、組合創立60周年記念式典を開催されました。式典冒頭では、藤本理事長から60周年を迎えるにあたっての感謝の言葉とともに、関係団体との連携強化、次世代の育成や人材確保など、業界団体としての今後の抱負が力強く述べられました。

続いて行われた表彰状・感謝状の贈呈では、業界の発展や技術の研鑽に尽力された組合員10名に対し、滋賀県中小企業団体中央会など5団体から、表彰が行われました。

式典には、三日月 大造 滋賀県知事、佐藤 健司 大津市長、加藤 誠一 滋賀県議会副議長、北村 嘉英 滋賀県中小企業団体中央会会長、奥田 克実 滋賀県建設産業団体連合会会長から節目を祝う祝辞が寄せられ、その後の祝賀会では、終始和やかな雰囲気の中、会員同士の親睦が深められました。



藤本理事長の挨拶



記念式典の様子

創立60周年を迎えて 未来の農業を検討する研修会 開催

滋賀県肥料商業組合

滋賀県肥料商業組合（理事長 高橋 久夫 氏）では、11月6日（木）に高島市の今津サンブリッジホテルにおいて、組合創立60周年を記念して環境に優しい持続可能な農業を目指す研修事業を実施されました。研修事業は、講演、記念講演、講習の3部構成で、講演では金子 誠 滋賀県農政水産部みらいの農業振興課 みどりの食料戦略室長補佐から「これからの滋賀県農業について」をテーマに県の基本計画が示されました。また、記念講演では、柴 卓也 龍谷大学農学部農学科准教授から「農薬の功罪、農薬の安全基準」をテーマに講演が行われました。講習では組合の賛助会員3社が講師を務め、安全・安心な農業の実現を目指し、効果的な種子の処理方法や酷暑に対応するための農業技術等の紹介が行われました。

組合では、今後も「食の安心」と「環境への配慮」の両立を図る事業を、業界団体として推進していく方針です。



高橋理事長による挨拶



会場の様子

イベントや記念事業、研修会開催、社会貢献活動など、組合様の特徴ある活動について情報をお寄せください。

発行

滋賀県中小企業団体中央会 〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21（5階）
TEL 077-511-1430 FAX 077-502-0111 URL <https://chuokai-shiga.or.jp>